

議 事 録

件名	第3回和光市教育振興基本計画策定委員会
日時	令和8年2月20日（金） 14時00分～
場所	和光市役所 4階 404会議室
会次第	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 教育部長あいさつ3. 委員長あいさつ4. 議事 和光市教育振興基本計画の策定について （1）パブリック・コメントの結果報告 （2）第2期和光市教育振興基本計画 案について5. その他6. 閉会

【資料】

- ・素案
- ・会次第
- ・パブリック・コメントの意見の概要と市の見解（資料1）
- ・庁内検討委員からの意見に対する回答（資料2）

1. 開会

2. 教育部長あいさつ

皆さんこんにちは。本日はお忙しいところ、第3回和光市教育振興基本計画策定委員会に御出席いただき、誠にありがとうございます。

当委員会ではこれまで2回にわたり議論を重ね、学校教育及び社会教育の現状と課題、そして今後の方向性について、多角的かつ建設的な御意見を頂戴してまいりました。委員の皆様様の専門的な知見と熱意ある御意見に、改めて深く感謝申し上げます。

本日の会議では、これまでにいただいた御意見を踏まえて作成した計画案を御覧いただきます。そして、今回の議論をもって計画案を完成させる段階に入ります。

より良い計画とするため、引き続き率直な御意見を賜りますようお願い申し上げます。本日もどうぞよろしく願いいたします。

3. 委員長あいさつ

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

いよいよ本会議も最終回となりました。本日は、パブリック・コメントの内容も含めた確認が中心になるものと考えております。より良いものに仕上げるため、最後までお力添えを賜りますようお願いいたします。本日もどうぞよろしく願いいたします。

4. 議事

和光市教育振興基本計画の策定について

(1) パブリック・コメントの結果報告

事務局：

パブリック・コメントは、令和8年1月8日（木曜日）から1月28日（水曜日）までの21日間実施しました。実施に当たっては、和光市ホームページにおいて素案を公開するとともに、公民館や図書館などの公共施設に素案の印刷物を掲示して市民が閲覧できるようにしました。

また、素案に関する説明会を計3回開催しました。開催日時は、1月9日（金曜日）午後7時から、1月11日（日曜日）午前10時から、1月13日（火曜日）午前10時からです。説明会には各回1名ずつ、計3名が参加しました。

参加者からは、小中学生の意見交換会の効果、教育のデジタル化、教育の余白を生かした学びの多様性、スポーツ施設の課題、キャリア教育の現状と課題、アンケートから見える子どもたちのスポーツ・部活動への関心などに関する質問や意見があり、所管課長からその場で説明を行いました。

さらに、説明会に参加できなかった方への対応として、説明会で使用したパワーポイント

を用いた説明動画を作成して YouTube で公開しました。動画の閲覧数は、期間中で 82 回でした。

これらの取組の結果、提出されたパブリック・コメントは 2 件でした。内容はいずれも学校教育課が所管する基本施策に対するご意見になっておりますので、学校教育課の方から説明をさせていただきます

事務局より、資料に基づき（１）について説明

【質疑内容】

委員：

パブリック・コメントの 2 点目のうち、最初の一文「授業や学習時に ICT の活用を希望した場合」についてですが、必ずしも学習に困難さを抱える生徒への対応に限定した趣旨ではなく、より深く多様な学びを保障するためのものとしての御意見であると受け止めております。この点については、今回の計画に反映するとの判断には至らなかったのでしょうか。

事務局：

ICT の推進に関する記載につきましては、指標の部分において、今回新たに「児童生徒の学校における ICT 活用状況」という指標を設け、基本施策 1 の指標として位置付けております。

先ほど御指摘いただいた点は本市の課題として認識しており、適切に追っていく必要があると考えております。そのため、基本施策 1 の施策 1 における ICT 活用の取組と、施策 3 「新しい時代に対応する教育の推進」における ICT の活用を併せて整理し、こどもたちの学びの中での ICT 活用状況を的確に把握していく趣旨を盛り込んでおります。

委員：

今回のコメントを受けて新たに案を修正するのではなく、もともとの計画の中に既にその考え方が含まれているため、修正は行わなかったという理解でよろしいでしょうか。

事務局：

その認識で間違いありません。

委員長：

ほかにいかがでしょうか。

私の方から一点申し上げます。異議を唱えるようで恐縮ですが、ICT の活用についてです。先ほど、困り感を抱えている児童生徒に対する ICT の活用についての御質問がありましたが、ICT の活用によって支援できる部分もあると考えております。

一方で、教員の ICT 活用指導力については、学校間あるいは同一校内においても差があると言われております。そのため、研修においてどのような困り感に対して、どのように ICT を活用すれば支援につながるのかといった具体的な内容も盛り込んでいただけると、今後よ

り良いのではないかと考えております。要望となりますが、御検討をお願いいたします。

ほかに御意見はございますか。また何かございましたら、後ほどでも結構ですのでお願いいたします。それでは、次に進めさせていただきます。

(2) 第2期和光市教育振興基本計画 案について
事務局より、資料に基づき(2)について説明

【質疑内容】

委員：

2ページの図表について申し上げます。「こどもの声」が他の項目と同じ大きさに修正されている点は大変良いと感じております。

しかし、その上段に記載されている「【適宜】関係部局との連携」につきましては、本計画の策定過程において常に連携を図りながら進めてきたものであると認識しておりますので、あえて「適宜・連携」は明記しなくてもよいのではないかと考えております。

他の項目との表記の統一性という観点からも、整理をご検討いただければと思います。

委員長：

他にご意見はございますか。

委員：

同じく2ページの図表についてです。

「こどもの声」等を示す紫色の線について、長さや配置のバランスがやや分かりにくい印象があります。統一感が出るよう、可能であればレイアウトの調整をご検討いただければと思います。

委員長：

他にご意見はございますか。

委員：

21ページ及び23ページの写真についてですが、教育委員会で撮影されたものと思われませんが、現場の学校における子どもたちの様子が分かる写真の方が、より適しているのではないかと感じました。

現在の写真は大人が多く写っている印象がありますので、子どもに関する会議であることを踏まえると、子どもたちが写っている写真の方が望ましいのではないかと考えます。各校に依頼すれば写真はあると思われるので、その点についても御検討いただければと思います。

委員長：

それでは、当該事項については事務局で対応をお願いします。ほかにいかがでしょうか。

委員：

資料2及び資料1の2についてですが、意見とその回答が示されています。この回答は、意見を提出された方に既にお伝えしており、ご了承をいただいているのでしょうか。

事務局：

パブリック・コメントの結果につきましては、ホームページに公表する形で回答いたします。現時点ではまだ回答は公表しておりませんが、計画が最終的に確定した段階で、最終計画と併せて、パブリック・コメントでいただいた御意見及びそれに対する回答を公表する予定としております。

委員長：

公表をもって返答とするということですね。承知しました。

ほかに御意見はございますか。それでは、次に進めさせていただきます。

5. その他

【全体を通しての質疑内容】

委員：

説明会に関する報告がありませんが、問題はないでしょうか。前回の会議で、説明会を実施する予定であるとお話があったと記憶しております。

説明会を実施したのであれば、何名程度の参加があったのか、どのような方が参加されたのかといった内容について、報告があった方がよいのではないかと考えます。記録として残すという観点からも、整理してお示しいただければと思います。

事務局：

先ほどの『(1) パブリック・コメントの結果報告』の中で、説明会の実施状況について報告させていただいております。

委員：

記録には残るとのことですね。分かりました。ありがとうございます。

委員長：

その他について、ほかにございますでしょうか。はい、お願いいたします。

委員：

第1回の会議において、パブリック・コメントの件数が少ない点について問題提起をさせていただきました。今回、ホームページへの掲載や公民館・図書館の活用、説明会の開催日時を変更して3回実施されたこと、さらに PowerPoint 資料を動画化して掲載するなど、様々な工夫をしていただいたことは承知しております。

しかしながら、結果として意見数が2件であったことについては、やや少ないのではないかという印象を持ちました。

私自身も保護者の立場にありますが、小中学生の保護者であれば、本計画の内容により関心を持つのではないかと考えております。ただ、実際にはホームページを自ら閲覧しに行く機会が少なかったり、公民館や図書館を利用しなかったり、説明会への参加が難しい場合もあるなど、様々な事情があるものと思われれます。

例えば、さくら連絡網などを活用して保護者層へ直接周知を図るといった方法も、今後同様の機会がある際には有効ではないかと考えます。参考までにお伝えさせていただきます。

委員長：

貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。

ほかに御意見はございますか。特にないようでしたら、事務局からお願いいたします。

事務局より説明

委員長：

委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行に御協力いただき、ありがとうございました。

それでは、委員の皆様から一言ずつ御発言を頂戴できればと思います。

委員：

皆様、ありがとうございました。

このたび、第2期和光市教育振興基本計画の策定過程に関わらせていただきましたことを、大変うれしく思っております。改めて感謝申し上げます。

本計画は、今後の本市の教育の方向性を示す重要な指針であります。計画が単なる文言にとどまることのないよう、その実施状況や成果について、私たち自身が継続的に確認して検証していくことが必要であると感じております。

指標の一つである「自分自身のことについて」に関する項目では、学力面においては和光市のこどもたちの割合は比較的高い水準にある一方、自己肯定感に関する数値は低い状況が示されております。県平均が50パーセントである中で、本市はそれを下回っており、重要な課題であると受け止めております。

今後この数値が着実に向上していくよう、具体的な取組を積み重ねていく必要があると考えております。そのためにも、関係者一人一人がそれぞれの立場で努力を重ねていくことが求められていることを改めて認識いたしました。皆様、誠にありがとうございました。

委員：

3回にわたってこのような貴重な議論の場に参加させていただき、ありがとうございました。

私は和光市民であり、また小中学生の保護者という立場から発言させていただきました。これまで、和光市の教育計画の体系や本計画の位置付けについて詳しく知る機会は多くありませんでしたが、重要な計画の策定過程に関わり、自身の意見を述べる機会をいただけたことは、大変貴重な経験であったと感じております。

また、自身の職務上の背景から、第4章施策2「次世代に求められる資質・能力の育成」の、とりわけ異文化理解や国際理解に関する取組に強い関心を持っております。今後は本計画の推進にあたり、何らかの形でお役に立てる機会がございましたら、協力させていただきたいと考えております。ありがとうございました。

委員：

今回初めてこども福祉に関わる立場として、社会福祉協議会から参加させていただきました。

これまで地域福祉課のコーディネーターとして、こどもの居場所づくり等に携わってまいりましたことから、地域とのつながりという観点でお声掛けをいただいたものと受け止めております。

学童保育等を通じて子どもたちと関わる機会はありませんでしたが、学校内部の取組については、これまで直接的に関わる機会は多くありませんでした。そのような中で、今回3回にわたり会議に参加させていただき、学校教育の現状や課題について理解を深めることができました。

今後は、本委員として得た学びを所属先に共有するとともに、より関心を持って関わってまいりたいと考えております。

引き続き学校と地域とのつながりという視点を大切に、「地域の中の学校」という在り方を踏まえながら、様々な形で関わらせていただければと思います。ありがとうございました。

委員：

3回にわたり会議に出席させていただき、ありがとうございました。

私は主に皆様のお話を伺いながら勉強させていただく立場でございましたが、大変貴重な機会となりましたことに感謝申し上げます。

日頃は民生委員・児童委員として子どもや学校に関わらせていただいておりますが、本計画が策定され、具体的な施策が進められていく中で、子どもに対して社会全体・大人一人ひとりが関心を持ち、大切に育てていこうとする姿勢が、今後ますます重要になると感じております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

委員：

この委員会に参加させていただき、ありがとうございました。

内容について十分に理解できているか不安もありましたが、皆様の御発言や計画の文言を読み解く中で、大変勉強になりました。このような場に参加させていただいたことは、自身にとって大きな学びとなり、貴重な経験であったと感じております。

教育にはハード面もありますが、やはり本質はソフト面にあると感じております。私自身大学で教職課程を履修し、長年学習塾を運営してまいりましたが、当時の指導方法と現在の子どもたちの学習環境は大きく変化しております。授業の進め方や体制も異なり、従来のように言葉で伝えるだけでなく、タブレットやパソコンを活用した学習が主流となっております。時代の変化を強く実感しております。

このような貴重な経験をさせていただきましたことに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員：

私は中央公民館で活動している立場として、本委員会に参加させていただきました。

議論を通じて、やはり教育というと子どもの視点が中心になるのだという印象を持ちました。

一方で、計画の中には社会教育や生涯学習についても記載されていますが、それが実際のどの程度役立つものとなるのかという点については、考えさせられるところがありました。

高齢者の中には公民館に足を運ぶこと自体が難しい方もおり、身体的な事情などから、学びたいという思いがあっても実際には参加が困難な場合もあります。

そのような現状をどのように計画の中に反映させていくのか、文言として示すことと実際の取組との間には難しさがあると感じました。

こどもに関する内容についてはアンケートも多く実施され、具体的に示されており、大変勉強になりました。今後は公民館としても何らかの形で役立てていければと考えております。ありがとうございました。

委員：

3回の会議に出席させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。

私はPTA保護者会連合会の立場で参加しており、日頃から子どもたちの現状や、学校運営協議会を通じた学校の取組について話を伺ってまいりました。本資料においても様々な課題が示されるとともに、市としての具体的な対策や計画が示されており、今後この方向性のもとで教育が進められていくのだということを理解することができました。

本計画が着実に推進されることにより、子どもたちを取り巻く環境がより良い方向へと改善されていくことを期待しております。大変意義のある計画であると感じております。

私自身はこどもの父親であり、また和光市民の一人として、子どもたちがより安心して楽しく生活できる環境づくりに、今後も可能な範囲で協力してまいりたいと考えております。ありがとうございました。

委員：

本日までありがとうございました。私は社会教育委員会に出席している立場から、本計画を拝見いたしました。

今回示された教育長の言葉を拝読し、これからの社会を支える基盤としての教育の重要性、また「地域とともに歩む教育」の理念が明確に示されていると感じました。社会教育の要素が本計画に位置付けられたことについて、意義あるものと受け止めております。

私は大学教員として研究にも携わっておりますが、和光市における教育振興基本計画の策定プロセスは、他市と比較しても丁寧に進められていると感じております。他市では社会教育関係者が参画していない例も見受けられる中、本市では委員12名のうち4名が社会教育分野に関わる構成となっており、その点は特徴的であると考えております。

私自身も委員の一人として、「社会教育」という視点を計画に位置付けることができるよう努めてまいりました。ご理解を賜りましたことに感謝申し上げます。

本委員会は本日をもって一区切りとなりますが、本計画は今後5年間にわたり推進されるものであります。策定に関わった者として、引き続き進捗を注視して必要に応じて関わってまいりたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員長：

本日まで委員の皆様から多くのご意見とご助言を賜り、議論を重ねながら、和光市のこどもたち、そして市民の皆様の学びを支える計画を本委員会として取りまとめることができましたことを、委員長として大変うれしく思っております。

今後は、本計画の着実な実行と検証の段階に移ることとなります。本計画の趣旨を十分に踏まえ、その内容を生かした教育行政が推進されますことを強く期待しております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

7. 閉会